

夏休み 自己管理する力を!

この1学期を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症への対応のため、体育会をはじめ、様々な行事の中止や変更を余儀なくされた1学期でした。しかし、そんな中でも生徒たちは、「3つの見える化（学び・秩序・貢献の見える化）」に向けて頑張ってくれました。

○ 学びの見える化

授業を参観すると、どの学年も熱心に授業に参加している生徒たちの姿を見ることができます。また、3年生では15名の生徒が自主学習ノートの提出を完璧にやり遂げました。「継続は力なり」といいますが、1日も欠かさず提出できたことは素晴らしいことだと思います。

○ 秩序の見える化

自転車の整頓・鍵かけ、下足箱や教室環境の整理・整頓、自ら笑顔で丁寧にできるあいさつなど、みんなが気持ちよく生活できるように、互いに心がけることができました。

○ 貢献の見える化

日々の係活動や委員会活動を学級や学校のために行う姿が見られました。生徒会執行部のあいさつ運動やZOOMによる生徒総会も印象深かったです。社会貢献として、社会福祉協議会から依頼があった「マスク作り」にぜひ参加を!

さて、いよいよ明日からは本格的な夏休みとなります。1学期の始業式や入学式でも話しましたが、生徒たちには、「自己管理する力」を身につけてほしいと願っています。起床時間、勉強時間、余暇を楽しむ時間、運動する時間、就寝時間など、1日の生活を**自分で管理し、自分で決めたことを実行**してください。誘惑に負けず、やり遂げることができれば、達成感や自己肯定感は相当なものとなるはずです。生徒たちが充実した生活を送り、8月24日からの授業日に元気な姿で会えることを楽しみにしています。

福祉協力校として

今年度も備前市社会福祉協議会より補助をいただき、「校内花いっぱい運動」「トイレ掃除ボランティア」「立志の会餅つき大会」等の事業を実施しています。

新型コロナウイルス感染症への対応のため、地域での行事が中止されたり、変更されたりしていますが、今後も家庭・地域と協働し、貢献する学校づくりを目指したいと考えています。